

「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山）」の選定業務

■業務の背景と概要

国土の約4割を占めると言われる里地里山について、環境省は『里地里山保全活用行動計画』を策定し（H22.10）、地域の活動促進につながる情報提供や検討を進めてきた。里地里山保全の重要性への認識の高まりを背景に、里地里山を次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山）」の選定が行われることとなった。

里地里山に関する研究者・大学教授等の有識者を構成員として設置された「里地里山保全・活用検討会議（以下、「検討会議」とする。）」のもと、平成24年度より、「重要性」の捉え方などの選定にかかる検討が始まり、選定手法（選定の基準・指標、評価方法等）の検討、候補地抽出、地域別分科会による候補地の精査等を経て、選定地500件を確定し、関連データのとりまとめを行った。

選定した500件について、公表のためのホームページを作成するとともに、広く情報発信することを目的としたリーフレットを作成した。

■「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山）」について

<選定の目的>

生物多様性保全に取り組むことが国家的・社会的課題とされる中、国土の生物多様性保全の観点から重要な地域を明らかにし、多様な主体による保全活用の取組が促進されることを目的としている。

<「重要里地里山」とは（選定基準）>

下記の3つの選定基準に照らし合わせて里地里山の生物多様性の状況を把握し、3つのうち2つ以上の基準に該当する場所を「重要里地里山」（人と生きものの暮らしが交わる豊かな環境）として選定。

基準1：多様で優れた二次的自然環境を有する ex)人々の暮らしや関わりにより維持されている身近な自然

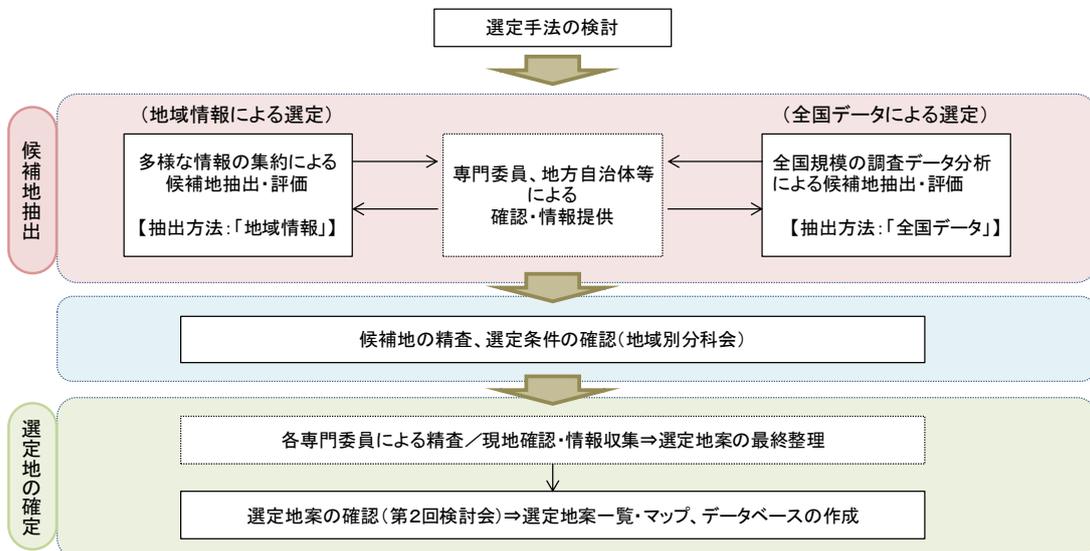
基準2：里地里山に特有で多様な野生動植物が生息・生育する ex)里地里山環境を好む生きものが暮らしている

基準3：生態系ネットワークの形成に寄与する ex)森・里・川・海などのつながりが確保されている

※上記の条件に満たない場合でも、動植物の生息生育状況、その他生物多様性保全の観点（保全の緊急性、モデル性（代表的・先進的）など）から、全国的な重要性がある地域については選定対象とした。

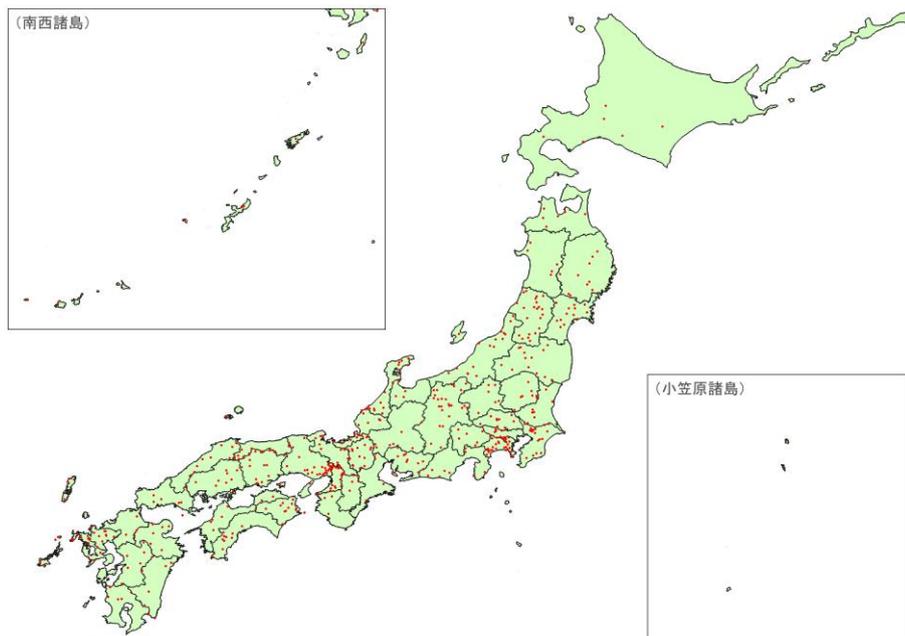
<対象とする里地里山>

本選定では、地域の認識をもとに「地域住民にとって身近な自然」「手をかけて守り続けている自然」とであると判断した場合には、選定の対象とした。



(選定のフロー)

■「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」500件



(地方)	選定地数
北海道	6
東北地方 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	69
関東地方 (茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)	84
中部地方 (新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県)	107
近畿地方 (三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	84
中国地方 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	50
四国地方 (徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	30
九州・沖縄地方 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)	64
その他(複数県にまたがる候補地)	6
合計	500

(選定 500 箇所の全国分布) ※地図上の赤い点は選定地を示したもの

■ホームページの作成

ホームページは、「トップページ」、「検索用ページ」、「個票ページ」という大きく3つの階層で構成。

トップページ
※全国地図を配置し、ここからも検索可能に!

検索ページ
※地方別検索、都道府県別検索が可能!

個票ページ
※選定地のおおよその位置も掲載!

▽「生物多様性保全上重要な里地里山」ホームページ URL

<http://www.env.go.jp/nature/satoyama/jyuuyousatoyama.html>

■広報リーフレットの作成

自治体より提供された選定地の写真を多数掲載!

関心を高めてもらえるよう、文章・レイアウトを工夫!